

令和4年6月 教育委員会定例会議事録

1. 日 時 令和4年6月28日(火) 午後2時00分開会
 令和4年6月28日(火) 午後4時00分閉会
2. 件 名 河南町教育委員会定例会
3. 開催場所 河南町役場 4階 301・302 会議室
4. 出席委員 教 育 長 中川 修
 教育長職務代理者 西川 幹雄
 委 員 藤原 充
 委 員 高井 美恵子
 委 員 杉田 みはる
5. 事務局職員 教・育部長 湊 浩
 教・育部副理事兼指導主事 内山 裕生
 教育課長 中海 幹男
 こども1ばん課長 山田 恵
 生涯まなぶ課長 森 弘樹
 給食センター所長 梅川 茂宏
 教育部教育課課長補佐兼指導主事 柏木 俊介

(審議内容)

教育長	<p>先ほど教育長室に来ていただいたときにも話題になりましたが、今日の午前中に、近畿で今まで過去最速で梅雨が明けたというニュースが入ってきました。梅雨入りしたのも6月14日ぐらいで、期間も今年は短かったし、暑さが尋常じゃないぐらいで、これも急な変化があるので皆さん気をつけてくださいということと、6月は、町の校長会も教頭会も実は同じ統一テーマで話をしたのですが、危機管理という話をさせてもらいました。</p> <p>6月を振り返ってみますと、6月8日に、あれは2001年ですから、もう20年ほど前になりますね。大教大池田のような事件は二度と起こしていけない。6月8日であるとか、或いは1月17日であるとか、毎年覚えなないといけないような日付が、どんどん増えていく。そんな中6月は、今しがた申しました気候の変化、豪雨もあります。地震も多発していますし、子どもたちには、本当に予測が不可能という中で何があっても、冷静に落ち着いて判断できるような大人に将来育って欲しい。学校では、避難訓練したりとか、また水泳の授業は、今年は3年ぶりなので、学校のプール入るのが初めてというのが、1年2年3年。先生たちも多分、ものすごい準備をして、望んでいることではないのかなと。そういう意味ではやっぱり安全で教育ができてこそというふうにと考えるとね、6月は改めて危機管理、そしていろんなことが起きたときの、その対応力、それを大人も子どもも、確認しながらやっていくことが大事だと思ったので、校長会とか教頭会はそういう話をさせてもらいました。</p> <p>さっきも申しましたように、この暑い中、雨不足もあって、水不足、それから電気不足。今では予想もつかないことが起こるかもしれない。あと1学期も3週間となりましたが、何とか夏休みまで頑張れるように、事務局も学校を支</p>
-----	--

	<p>援していきたいなと思っているところです。本日もどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、令和4年6月の教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>まず初めに、本日の定例会につきまして、傍聴の方はおられません。次に、本日の出席者は5名です。定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、西川委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
委員全員	異議なし
教育長	<p>ご異議がないようですので、会議録署名委員は西川委員に決定いたしました。</p> <p>それでは2諸報告、その他に進めさせていただきます。</p> <p>まず「(1) 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に係る教育評価委員について」を事務局の説明等を求めます。</p>
事務局	「(1) 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に係る教育評価委員について」 資料に基づき説明
教育長	<p>この件について何かご質問等ございませんか。ないようですので、次に「(2) 運動部活動の地域移行について」、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	「(2) 運動部活動の地域移行について」 資料に基づき説明
教育長	この件について何かご質問等ありますか。
委員	<p>部活動の地域移行に関する検討を今後されていくわけですが、これはテーマ的には本当に非常に重たく大変な作業だと思います。</p> <p>1点はこの3枚刷り資料の課題のところですね、この課題の丸印の真ん中。そこを見ていただいて、課題のところに競技経験のない教師が指導せざるをえなかったり、休日も含めた運動の活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担、そういうふうに課題として書かれています。実際、教育委員の皆さんも先生方及び管理職を体験された委員の方も多いので、現状を把握されたと思いますけれども、実際そういうような現状になっているかということをご参考にお伺いしたいことと、もう1点は、同じ3枚刷りの資料の上から3段目ですね、かっこ枠の目指す姿というところの、丸印三つありますけど、真ん中。スポーツは自発的な参画を通して、楽しさ喜びを感じることに本質、自己実現、活力ある社会、絆の強い社会づくり、部活動の意義の継承、発展新しい価値の創造と、ちょっと堅苦しい文字がずらずらと並んでいますけれども、私もスポーツを楽しむ人間として現在、現役で登山とスキーとテニスという3種目を楽しんでいます。僕は思うのだけど、この、スポーツの</p>

本来の意義とかをこの年になって考えたときに、スポーツは、的確な指導者、コーチについて練習すれば、確実にレベルアップしていくのですよ。うまくなったな、できなかったことができるようになる。

挑戦して調整して、上手いかない、エラーを重ねることによって、心も鍛えられて、スキルも上がってくることもありますので、それはスポーツを通じて、人間性を育てられるスポーツインテリジェンスっていう言葉がありますけれども、まさしくその世界があると思います。

それを、学校を離れて、地域社会にゆだねるということなのですが、一番の問題点は、河南町においても、体育施設は限られている、しかもその体育施設は今現在、河南町の住民のいろんな各種クラブのために、恐らくはスケジュールはビシッと埋まっていると。テニスコートにしても埋まっています。その限られたキャパシティの中に、学校教育の部活動を入れて、地域にゆだねて、地域のスポーツ団体を受けられるだけの余力があるのかな。指導者の面もそう、施設の面もそう。その点をしっかり見ないと非常に難しいことだと思います。その2点です。

まず、この現場の雰囲気をお教えいただけますか。

教育長

委員からご質問が2点ありました。まず1点目の中学校の実態です。

2つ目は、例えばこれが移行した場合の受け皿であるとか、場所も含め、人も含めて、事務局の方で何か資料はありますか。

事務局

まず競技経験のない教職員が指導することはあります。アンケートでは、部活指導をやる気満々の人が地域移行反対だというご意見もあります。

ただ全国的にいろんな調査をしている中で、20代から50代、子育て、また子育て終わる手前のいわゆる正職と言われる教職員にアンケートを取った時に、8割は地域移行をしてほしいという意見が出ております。

中にも自分が一生懸命やっている中で成績を上げて教職員についてはやりたいと、地域移行にすると、そこで指導内容について差異が出てしまって、トラブルが起こる可能性もあるというようなこともあって、温度差がありますが、冷静にアンケートをみたときには、8割はやっぱり業務負担で、本来の勉強についてのところになかなか注力できない。それと、皆さんご存知の通り、子どもの家庭事情が変わってきております。

不登校の子どもへの対応とか、トラブルへの対応に、このクラブ活動によって手薄になっているところも現実です。

それと二つ目ですが、今、河南町の公的なものは、生涯まなぶ課の方で管轄しております。スポーツでは9団体、軟式野球連盟、卓球、バレーボール、ソフトボール、スキー、バドミントン、テニス、グラウンドゴルフ、バウンドテニスです。今中学校の方では男女も含めて13クラブがあります。これは文化部も入っている話になりますが、これをお任せする時に、やっぱりボランティアという形をお願いをするとなれば、いろんな問題も出てくると思います。持

	<p>続をしていこうと思ったら、しっかりとお金なりを払ってという話にはなるのですが、先ほど委員がおっしゃったように、施設の問題もあります。国の検討会議の提案の中でも、概略で書いていますけど、正直なところ、小さい町や村でそういう人材が確保できるのかというのが非常に大きな問題だと思います。</p> <p>土地があったとしても、人材がなかったら、任すことはなかなか難しいのではないかと思います。この辺も検討会議の提言の話ですので、検討会議で出てきた内容を踏まえて最終文科省が取りまとめて、一定の方向性が出てくるのだと思います。</p> <p>ただ大きく内容は変わらないものだと思いますが、ただ現実としては、平成30年度に出ている文章の中でも、なかなか進んでないところを見ると、難しいのではないかなとは、今のところは感じております。</p> <p>学習指導要領の位置付けもしっかりとしないと、中途半端な状況の中で地域教育との関連という形では非常に難しいのではないかなと個人的には感じます。</p>
教育長	<p>今説明もありました。他、この件について、何かお感じになっていることをどうぞ。</p>
委員	<p>わたしは、もう部活動、地域移行っていうのはもう賛成です。</p> <p>ただいろいろニュースとか見ていると経済的な負担っていうのがその市町村にとってもそうですし、家庭にとっても出てくるっていうその部分がとても大きいのかなというふうに感じていまして、今、これ運動ですけど、文化も同じようになっていくっていう中で、スタディクーポン・イニシアチブっていう、公益社団法人などが運営しているものになるのですけれども、そこがいろんな自治体に教育バウチャーを発行するという仕事をしておられて、千葉市とか渋谷区とかはそういうものを採用されて、大阪市も塾代助成カードというのを発行して、塾だけじゃなくてスポーツのチームの関係に使ったりだとか、スイミングスクールとかそういう一般の習い事に使えたりだとかっていうようなことをされてるのですけれども、河南町でそういうものを導入される予定があるのかと思いました。</p>
事務局	<p>今のところ、そういった検討の方はしておりません。</p> <p>部活動の意義という資料があると思います。これが大前提になっています。</p> <p>学習指導要領の中の学校運営上、留意事項といたしまして、部活動としては、教育課程外の学校教育活動と教育課程の連携が図れるように留意するものです。教育課程外に位置付けられています。</p> <p>ところが、この要領によると、外には位置付けられているけれども、その下段に書いてあるいろんな目的や、そういったことに関して学校教育の一環として、教育課程との連携が図れるように留意すること、というただし書きみたいな書き方がされています。今現在の指導要領においては、教育活動の延長線上に中学の部活動があるという理解をしてございます。</p>

そしてそれらに基づいて地域移行されていくのですけれども、地域移行の資料の方にも、こういう教育は学習指導要領の改定も今後考えていかなければならないという検討事項も書かれているのです。

やはりこういうベースを議論しないと、委員もおっしゃられたように、地域移行イコール民間委託ということもなりかねない。

または、保護者負担の差、費用の差によって、そういう教育延長線上の教育活動なのに、受け入れる・受け入れないっていうような不平等が出てきても、これも今の流れからしたら、おかしい。まだまだ検討課題があるのです。

教育委員会といたしましても、こういった提言はなされていますが、慎重にこれを検討していこうという今現時点での考え方です。

やはり、教職員の負担軽減は、一定これは効果があることは分かっています。

かつ、指導要領がこういう形である以上は、教育活動の一環として位置付けられている以上、地域に移行って言っているから、いきなり丸投げすると、かなりの摩擦が生じるだろう。ここは慎重に、時期を見極めつつ、検討していこうという方向性は一定持っていますので、今後、じっくりと委員の皆様方とともに、こういった課題に関して検討し、いかに地域移行していくのがいいのか、皆さんと考えていけたらと、今現時点では思っております。

金券みたいなものを大阪市が配っているのですが、河南町で先ほど考えてない話をさせてもらったのですが、今クラブ活動については、中学校1校当たり300万円配っています。

1校に300万円です。近隣市町村でいきますと、10倍ぐらい払っています。1校当たりの金額。通常大体4～50万円、1校あたり平均4、50万円なのですが、河南町300万円渡してるので、高いんじゃないかといろんなところから指摘を受けています。

近隣市町村と比べて、この東部でも、50万円前後ぐらいです。一番高いところでも1校あたりで100万円いくかいかないというところで、大体50万円前後ぐらいです。文化部も含めて、1校当たりという形で補助金を出ささせていただいておりますので、子どもさんがクラブで入ったとすると、負担軽減も図られていると考えております。今現在クラブ活動については強制ではありません。

昔々は全員参加の指導と思いますけど、今は違いまして、約8割の方が参加されております。それ以外は、そういう地域のクラブチームに入ったりとか、サッカーもありますから、そういうところに入っている方、またクラブに全く入っていない方もいらっしゃいます。

教育長

他に何かご意見どうぞ。

委員

日本の教育のいいところは、実は日本型教育というのですけども、運動会があつたりとか、それからクラブがあつたりとか、外国にはそういう活動はないのです。

スポーツなんかも完全に社会教育の方が、学校がノータッチでやっているっ

ていうのがあって、今反対に日本型教育が外国で見直されている。だから外国の人に比べたら、子どもが教室を掃除するのとか、給食をみんなで配膳するのとか、或いは運動会をして、地域の人と一緒に楽しむのとか、見直されていることもあるのです。

実は日本型教育の効果も、部活動の意義に書いてあったように、教育課程外の活動は、別にこれだけじゃなしに、小学校でも結構たくさんあるのですけども、その辺が大きいと思います。

だから単にスポーツの地域移行も、子どもたちがそういうクラブとかいろんなことで、体験を多くして、教育内容を高めるといえるのは大事。余りにもきちっと移行しすぎると、スポーツに対する意義は高まるけども教育的意義が薄れるのではないかと危惧しております。

例えば先生方の働き改革は必要だけれども、教育意義をしっかり踏まえた上で、進めていただきたい。

だから、クラブ活動が楽しみで学校教育を一生懸命頑張っている子どもたくさんいるし、そのことによって、教育内容が高まっているということもたくさんありますので、そこのところはしっかり踏まえていかなきゃいけないかなあというのが、感じているところです。

委員

教師にとっては、土日も行かないといけない、勤務時間が大体5時までなのに、6時まで部活があたり前に毎日あるっていう現実で、先生のなり手が少ないとか、そんなことを考えていくと、早急に何かしら変えていかないといけない時代じゃないかな。学習指導要領との関係もあるのですが、やっぱりスポーツを専門にやりたい子どものニーズが高いっていうのも変わってきてることかな。でも、河南町でこれやりましょうって言った時に、どうやってやろうかな。陸上だけは先生が中心になって、クラブを作って、土日とかにも河南中でやっておられて、そういう中心となる人物がいたら、陸上はそこでおさまるだろう。じゃあ、例えば太子町の子がそこへ入りたいと思ったとき、どうやって移動したらいいか、そんなことを考えたら実際、自分の町でやるしかないとか考えていたら具体的な策が思いつかなくて。

この3町村で、手を取り合って、バスケットは河南町で担って、サッカーは前田大善がいるから太子町が担ったらいいかなとか、思ってたのですが、移動手段が無いから難しい。

教育長

今、4人の委員さんからも様々な意見が出されました。これは一般的に例えばニュースや新聞でも出ているように、さっきの補足の中でもあったように、数字的には、委員さんがおっしゃったように、これは進めていくべきだという意見も多い。しかしながら、やっぱり地域差もあるし、提言段階で一定しか出てきてないので、結論づけるのは非常に難しい。先ほど、この中にもありましたように、いろんなことを教育委員会の中でもご意見いただきながら、河南町としてどういう方向性がよいか、まだ今の段階では慎重に。これからど

んどん情報も出てくるだろうし、似たような規模のところは、こんな取り組みし始めたというようなことも我々も情報収集しながら。大事なことは、さっき委員もおっしゃられたように、やっぱり子どもだと思ふのですよ。

子どもに今まで保障された体験の場であるとか、そういったものが、例えばこれを移行することによって、ないがしろになったりとか、或いは保護者負担が大きくなったりとか、そんなことはいけないなと思っていますし、それはどういうふうにして解決していくかは、これから慎重にじっくりと情報収集しながら検討する必要があります。片や教師の働き方改革は、早急に考えないといけない。ただ、部活動だけで完結して、部活動さえなくなれば、教師の働き方改革なのか。まず、そもそも小学校部活動がないので。

総合的に考えていかななくてはならない分野でもあるし、今日もたくさん資料を用意したのですが、またご覧いただきながら、継続的な案件と感じております。

委員

どんな子どもを河南町では目指していくのか。本当に一つのスポーツに特化して、例えば雪国ならスケートとか、特色の部分については、地域移行していきけるのと違うかな。

クラブ活動の意義を子どもたちが理解して保護者が理解して活動できるように、無理のないように。優勝を目指すとか、スキルをアップするとか、高校だったらインターハイに出れるとか、それで学校のネームバリューが上がっていくとか、そんなところがあったり、そういうところも見え隠れしているので、どういう子どもを目指していくのかいうことを、まずは決めなきゃいけないのと違うかな。

委員

資料の3枚綴りの、2枚目を見ていただいて、特定の運動種目、これはまさしく今中学校の部活に取り入れられているのは特定の種目ですね。

特定の運動種目に専念する活動だけではなく、休日等におけるスポーツ体験教室や複数の運動種目を体験できる活動、体験型キャンプも新たな提言としてどんどんやっということだったら、河南町の地域の特性を生かせるようになると思います。

昔、青崩にキャンプ場があったのですよ。綺麗な清流があって、沢蟹がいて、とり放題で、蛍が飛んでくる。本当に心が洗われるような体験ができます。

だから河南町ではそういう雑木林とかブッシュクラフトなんかいっぱいあるから、この体験型キャンプを河南町の特性を生かして、今後この教育委員会で審議して、新たに立ち上げて欲しい。今、民間で持尾の方に、民間施設のキャンプ場ができていますか。持尾です。半年前にオープンしているのです。車が施設に入っていけてそのまま泊まりでテント張ってできるのです。私もキャンプが好きだから、ぜひぜひ河南町の特性を生かしてやってみたいという思いがあります。

教育長	<p>河南町としてね、どんな子どもを育てていくのか、河南町のいいところとか。利点を生かしながらという意味では、今のご意見も含めながら、どうしていくのかっていうのは、先ほども申しましたが、慎重に進めていきたいなと思っております。</p> <p>この件について他にないですか。</p> <p>それでは、「(3) 第25回ぷくぷくサンデーコンサートについて」、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「(3) 第25回ぷくぷくサンデーコンサートについて」 資料に基づき説明</p>
教育長	<p>特に質問等ないですか。次に「(4) その他について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>こども1ばん課の予算で新しく今年度実施させていただくものがあります。大阪府内の18歳以下の子どもに対し、1万円のギフトカードを配布するという事業がありますが、河南町ではさらにその5000円上乗せした形で、1万5000円を配布させていただくことを考えております。</p>
教育長	<p>この件については、特に意見はございませんか。他に事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>イングリッシュキャンプを8月18日、19日に府立少年自然の家で開催させていただきます。また委員の方にご覧いただけたらと思います。</p>
教育長	<p>他にないですか。</p>
事務局	<p>今中学校にフィリピンの方から来ていただいているALTがもう3年で任期満了になります。デニース先生ですが、一旦これで契約が終わりです。</p> <p>本来5年任期はあるのですが、河南町も3年になりますので残り2年については太子町の方へ行かれます。</p> <p>太子町の中学校へ勤務という形で、今、予定しております。その後、7月24日にアメリカの方から、新たな先生が来られます。今回は弁護士資格を持った先生が来られます。</p> <p>7月にはデニースの方から、退任にあたっての挨拶をしてもらいますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
教育長	<p>それでは、委員の方々から何かご提案等はないですか。</p>
委員	<p>先日、子どもがオンライン授業というのですかね、授業中継を始めますっていう案内を持って帰ってきたのですけれども、私はうれしいなと思ひて見させ</p>

	<p>ていただきました。それをするにあたって実施理由が新型コロナ等っていう書き方だけだったのですけれども、できたら、私の希望としては不登校の子とか、そういう子とかが使えるようになってくれたら嬉しいなと思っています。</p> <p>今聞きたいこととしては現在の実施状況がどのようになっているかっていうことと、あともう一つ使うために学校に対して申し込みが必要、みたいなことが書いてあったので、意義はすごく理解できると思ったのですけれども、できたら、来年度からは、年度初めに、よく誓約書みたいな、この顔がホームページに載ったらだめとか、いいとか、いっぱい書類があると思うのですけれども、その中の一つに、いざという時はオンラインでの授業を受講することを希望するかどうかっていうことの意味確認を年度初めに全員取るのはどうかなと思っています。完全に不登校になってしまう前に、そうやって、例えばいつもなら学校に来ているのに、最近オンラインが多いなとか、せっかく作っていただいたフォーマットを使って、コロナだけじゃなくて、全部の子どもに、恩恵を与えられるようなものにしていただけたらすごく嬉しいなと思っています。</p>
事務局	<p>学校の方は、個別対応という形で今やっております。</p> <p>この前に今年度の予算で、AIドリル、デジタル教材の方も購入、ライセンスを調達いたしまして、河南町の小中学校で採択している教科書に合わせた教材、ソフトウェアを導入させていただいております。持って帰ってやるっていうのはなかなか難しいですけども、学校の中で、機械に慣れてもらいながら、どうしても学校に来れない場合、そのドリルをつかうなり、また、ライブ中継を個別対応という形で進めて、いくという話で今のところ進めさせていただいております。</p>
委員	<p>今実際そうやってオンラインで、授業受けている子どもはおられるのですか。</p>
事務局	<p>不登校であったりコロナであったり、一斉に見せるという方法を試験的にやったり、例えば夕方子どもたちが帰った後に、その子どもに対して1対1でやる、50分の授業じゃなくても、必要に応じて個別に応じてしています。</p> <p>ただ一部学校で、教室に入れないうちの子もいらっちゃって、別室で、外部で授業を受けているお子さんはいらっちゃいます。</p> <p>また、教育支援センターをやっていますので、子どもさんが希望するならば、ライブ中継の話をしてはいますが、まだ子どもさんの方からライブ中継を求められておりません。</p>
委員	<p>本人から要望があるかどうかっていうのももちろん大事なことだとは思いますが、どこにいても、学校の授業を聞くことができるっていうのが、やっぱりいいなあと私は思っているんで、ぜひそういうふうに進んでいったらいいなと思います。</p>

事務局	<p>例えばオンラインということをしごく喜びすぎて、家から出られないようになってしまうことも危惧されるようなところがあります。だから本当に必要に応じて、事態に応じての対応になると思います。でも、学校に行きにくいお子さんにとったら、いろいろ選択できる形になれば一番いいかなと思います。</p>
委員	<p>今行っている子にとっても、日々いろんなことがあって、学校に行くのがしんどい日もある中で、いざという時は、授業だけはこれで聞けるっていうのは一つの安心材料になると思いますし、発信していただくことにしごく意味があることじゃないかなって保護者として思っています。</p>
事務局	<p>過度期になりますので、できる限りのこと、できることから順番にやっていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>他、今の件で付け加えとかないですか。 今、事務局も申し上げたように、とにかくできることをやっといこう、その中で、あんまり子どもにとってどうであるのか、そこら辺は大事にしていきたいと思っていますので、まだ何かご意見あったら出してください。他どうですか。</p>
委員	<p>就学前健診とかでいきなり教育相談とかあると思うのですが、そうじゃなくって、その手前で、それはもう健康の話ですってになってしまうのだけど、そういうことが教育と連携していくっていうか、こども1ばん課でもそういうことを連携したら、発達障害の子とかが早期発見できたり、繋がっていくのかなと思ったので度教えてください。</p>
事務局	<p>就学されるまでのお子さんが遊びに行けるのかなっていう感じはあるのですが、そこでお母さんと子どもさんが来て遊んでいた中で、みな保育士の資格を持った先生たちがパソコンや公園のところに子どもさん見守ってくれますので、例えば育児のことに悩んでいるとか、ちょっと発達遅いのかなって気にされる方いらっしゃったら、そういうのは、先生に伝えてもらったらこども1ばん課に連絡きまして、例えば言語の練習、体を動かしながら言葉を出す練習とか、動き的にもちょっと遅れてるかなというお子さんも、おもちゃを使って階段上って降りてとかいって体を動かして、発達を促すという事業の方にご案内したいっていうのをさせてもらって、発達の検査を受けたいということであれば、またそこから、データをいただいて検査して、見解を園に情報提供ということもさせてもらっています。また小学校に行くお子さんのことについては、随時連絡していますのでもう関わりは持って保育までの方については対応させていただいています。</p>
教育長	<p>他はどうですか。よろしいですか。</p>

	<p>以上をもちまして本日の議事日程はすべて終了いたしました。</p> <p>次回の定例会は令和4年7月28日（木）午後2時からお願いします。</p> <p>これをもちまして6月の教育委員会定例会を閉会いたします。</p>
--	---

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名